

南アフリカ為替週報

2023年8月17日 | みずほ銀行欧州資金部

<過去2週間の動き> (8月3日～8月16日)

USD/ZAR: 18.3828～19.2978

ZAR/JPY: 7.51～7.79(参照値)

過去2週間の南ア・ランド相場は大幅に下落。引き続き、中国経済を巡る懸念が重石となっている。南アフリカにとって、中国は最大の輸出相手国であるばかりでなく、中国経済、とりわけ不動産市場の動向は、鉄鉱石など南アフリカの主要輸出品目の価格を左右する。一方、米国経済は消費を中心にお底堅さを維持しており、米金利上昇・ドル高となっていることも南アランドを含む資源国・新興国通貨にとって逆風となっている。

ランドは引き続き外部要因に大きく左右される展開が続いているが、国内の要因では南アフリカ準備銀行(SARB)の金融政策や、電力不足の問題が引き続き重要である。前者のSARBの金融政策について、来週8月23日に発表される7月分のCPIが当面の焦点となるが、8月16日に発表された6月分の小売売上高が前年同月比▲0.9%と同+0.2%を見込んでいた市場予想を大幅に下回る結果となったことも注目される。内需の落ち込みが一段と鮮明になりつつあることは、SARBの高金利政策からの転換を早めるものとなる可能性があるためだ。SARBは7月20日の会合で政策金利を8.25%で据え置いており、市場では早くも今年末から来年はじめにかけての利下げが織り込まれつつある。

一方、年前半の南ア景気並びに南アランド相場にとって重大な押し下げ要因となった後者の電力不足の問題について、8月15日にIMFがヨハネスブルクでのイベントで、物流や電力不足の問題が改善すれば、南アフリカ経済は年率2.5～3.0%の成長に達する可能性がある、との見通しを示したことが注目を集めている。IMFは2023年7月に公表した「世界経済見通し」において、南アの実質GDP成長率見通しを2023年は前年比+0.3%と2022年の同+1.9%から大幅に減速し、2024年も同+1.7%の成長に留まるとの予想を示していた。国営電力会社の発電、送電、配電の分社化などの改革は労働組合などからの根強い反対もあり遅れが目立つが、同国経済・金融市場を見るうえでのアップサイドリスクにもなりうる点は意識する必要があるだろう。

<過去2週間に発表された主要経済指標等>

月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
8/10	12:00	製造業生産(前年比%)	6月	3%	5.5%	2.4%
8/16	12:00	小売売上高(前年比%)	6月	0.2%	-0.9%	-1.6%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

<向こう1週間の見通し> (8月17日～8月23日)

USD/ZAR: 18.00～20.00

ZAR/JPY: 7.10～8.10

今後1週間のランド相場は、外部環境、とりわけ中国経済に対する悲観論が後退するかによって上下に動くと思われるが、どちらかといえばランド相場を含めた資源国・新興国通貨の先行きに対し慎重に構えるべきであろう。中国経済を巡っては、大手不動産企業のデフォルトリスクが金融システムにも影響を与える経路にまで懸念が広がっており、予断を許さないためだ。南ア国内の要因では、8月23日に公表される7月分のCPIが重要である。また、来週はヨハネスブルクで8月22日～24日にBRICS首脳会議が開催される。金を裏付けとするBRICS共通通貨の構想は新興国の貿易・金融取引のドル依存を低下させようとする取り組みであり、短期的に見れば直接的な為替市場への影響は大きくないかもしれないが、長期的な観点からはドルの地位低下につながりうる重要なテーマである。

<向こう1週間に発表予定の主要経済指標等>

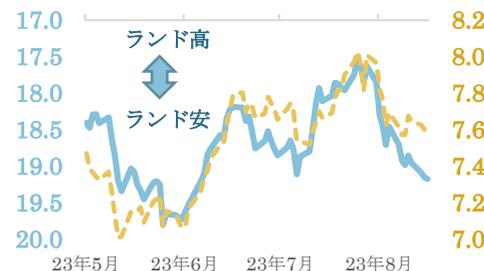
月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
8/23	09:00	CPI(前年比%)	7月			5.4%
	09:00	コアCPI(前年比%)	7月			5%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

南ア・ランドの推移

実線: 対ドルレート(左軸、逆目盛)

点線: 対円レート(右軸)



南アフリカ 政策金利とCPI

実線: 政策金利

点線: 消費者物価指数(CPI)

(%、前年比%)



南アフリカ 1年後金利織り込み(*)

(%ポイント)



* 12か月後スタート期間3か月のフォワードレートから、3か月JIBARを差し引いている。

(資料:ブルームバーグ)

<文責>

欧州資金部

シニア為替ストラテジスト

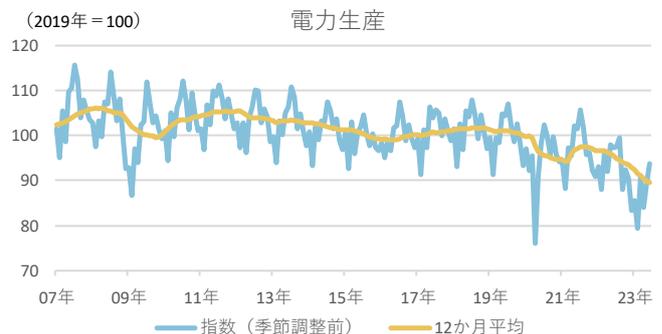
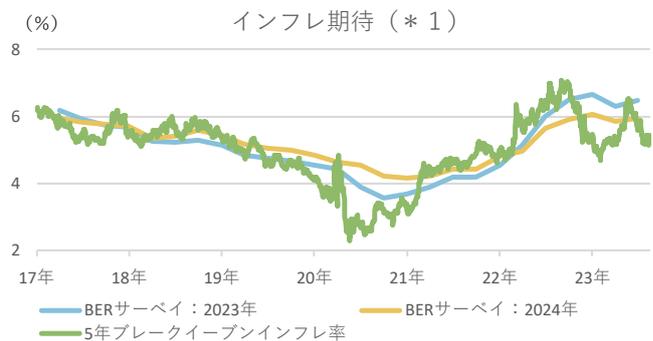
中島 将行

masayuki.nakajima@mhcb.co.uk

南アフリカ為替週報

2023年8月17日 | みずほ銀行欧州資金部

＜主要経済指標の推移＞



* 1 : BERサーベイは南アフリカ経済調査局 (Bureau for Economic Research) による四半期ごとの調査。

経済アナリストや企業などが調査対象となっている。

ブレイクイーブンインフレ率は物価連動国債から算出される、市場が推測する期待インフレ率。

* 2 : 月次データ。ただし、2023年8月は1日から15日までの累計値。

(資料 ; 南アフリカ準備銀行/南アフリカ統計局/南アフリカ経済調査局/ヨハネスブルク証券取引所/ブルームバーグ/みずほ銀行)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。